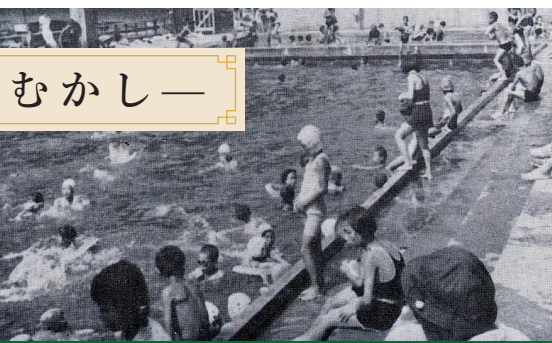


<b>報道記者発表資料</b>  <b>朝 来 市</b>	提出日	令和5年9月5日
	問合せ先	担当部署：生野書院
		電話：079-679-4336
	担当者	支所長：一ノ瀬智至
担当：岡田 淳		
件名	<b>生野書院特別展</b>	
<p>この度、令和5年度 生野書院特別展を下記のとおり開催します。今年は生野鉱山が閉山して50年になります。半世紀を振り返りながら、これから生野でどのように住み続けていくのかを考える企画です。</p> <p>期 間 令和5年9月23日（土）～11月26日（日）9:30～16:30</p> <p>会 場 生野書院 蔵展示室</p> <p>テ ー マ 「生野鉱山閉山50年に見る“むかし、いま・・・そして、これから”」</p> <p>展示内容 ・「むかし」「いま」「これから」という3つの流れを写真パネル等で展示  ・「むかし」は、昭和30年代の鉱山の盛んな頃の生野  ・「いま」は、「史跡生野銀山」や「銀谷祭り」等の観光の町としての生野  ・「これから」は、日本遺産認定を継続させ、住み続けていきたいと願う生野  ・「チャスリン」と「イクノン」の対話により、展示ストーリーを構成する。</p> <p>対 象 子どもも含め幅広い年齢層の方々</p> <p>参 加 費 無料</p> <p>添付資料 別紙チラシ</p> <p>そ の 他 ・クイズを楽しみながら展示を観て頂く。  ・談話室で、当時のことを知る人に、お話を聞かせて頂く。</p>		



むかし —

生野鉦山の最盛期ともいえる昭和30年代、町には人があふれ、協和会館や鉦山プールなどの娯楽施設が賑わっていました。活気に満ちたあの時代を、記憶とともに振り返ります —



生野鉦山閉山50年に見る “むかし、いま…そして、これから”



令和5年度 生野書院特別展



いま —

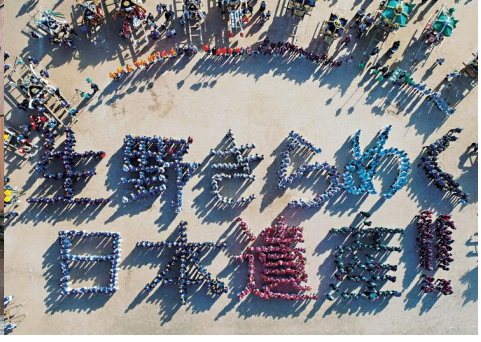


閉山から半世紀 — 地域が継承してきた鉦山町の文化や景観は、今も生きています。



これから —

これからも鉦山町“いくの”に住み続けるために私たちにできること



会 期：令和5年9月23日(土)～11月26日(日)

開館時間：9：30～16：30 (最終入館 16：00)

休 館 日：毎週月曜 (祝日の場合は翌日)

生野書院 入場無料

〒679-3301 兵庫県朝来市生野町口銀谷356-1 TEL・FAX：079-679-4336

令和5年度電源立地地域対策交付金事業



【車】姫路から約1時間、京阪神から約2時間、福知山から約1時間(播但連絡道路経由)

【鉄道】姫路から約1時間、京阪神から約2時間15分、福知山から約1時間15分(JR播但線生野駅下車、徒歩10分)